

# 良知館通信②

## 境内の像や碑

山本 義雄

良知館の北側に藤樹先生の像がある。この石碑は京都大学教授であられた高瀬武次郎博士の自宅にあった。日本思想の研究で知られた高瀬博士は特に中江藤樹には思い入れが深く、その人柄に触れようと高瀬家には多くの弟子が出入りして、惺軒先生と呼び親しまれる。博士の死後も遺愛として妻の勝さんが大切にされ、北区鴨川の辺りに地域の精神文化向上に役立ててもらう為自宅を安楽荘と名付けて開放していたが、この石碑を旧安曇川町へ寄贈



の申し入れがあり、良知館開設と同時に顕彰碑となる。藤樹書院のシンボルとして大切に後世に引き継ぎたい。

右隣に愛敬の碑がある。年譜によると先生三十五歳、常に愛敬の二字を掲げだし心体を体認しむ……とあり、孝経に「親を愛する者は人を憎まず 親を敬う者は人を侮らず」と

あるように、親を愛し兄を敬う心、また赤ん坊を見て愛おしいと思う気持ちにすれば人々への思いやりとなっていき聖人の心となる。愛敬は藤樹先生が講堂に掲げた言葉です。



## 賛助会員一覧

平成二十六年十二月現在の賛助会員（法人）は次の通りです。ご協力ありがとうございます。

- 新規加入》
- 有限会社 宏和商事 安曇川町下小川 今津町今津
- 三田村印刷 株式会社 今津町今津
- 《既加入》
- ウエストレイクホテル可以登樓
- 株式会社 大山建設
- 株式会社 桑原組
- 有限会社 白浜荘
- 社会福祉法人 新旭みのり会
- 株式会社 TADコーポレーション
- 鉄屋商事 株式会社
- とも栄藤樹街道本店
- 中村印刷 株式会社
- ニッケイ工業 株式会社
- 有限会社 馬場塗装
- 有限会社 綿庄食品店

(五十音順)

## お詫びと訂正

★前号（第六号）五頁「了佐てらこや小学校」の写真一枚目と三枚目に誤りがありましたので、謹んでお詫びし訂正（差し替え）いたします。



開校式で、子ども達は姿勢を正し、緊張感をもって臨んでいました。



学年に応じた手本をもとに、作品作りに励んでいました。

## あとがき

### 園や学校を見る「目」

雪の季節が訪れました。純白のきれいな雪景色と裏腹に、大雪で身動きがとれなくなつて困ることも多々あります。

かつて赴任したマキノ西小学校も雪の多い所でした。ところが、前夜にどんなに積もうとも、朝車で学校に着けば、既に駐車場や校庭内の子ども歩道はきれいに除雪されているのです。近くの寺久保の方々の手によるものでした。そのおひとりに丁重にお礼を述べると、『学校から遠い集落は、朝早くから長い通学路の除雪をされます。学校に近い我々は、せめて学校の中の雪ぐらい除けて当たり前ですよ。』と、サラッと返されました。

少し前、NHKのクローズアップ現代で「保育園が迷惑か」をテーマに、全国で深刻さが増す保育園に対する苦情・クレームをとり上げていました。「園児の声がうるさい」「送迎の保護者のマナーが悪い」などと。市内の学校でも「プールでの子どもの声がうるさい」「土ぼこりで困る」など、苦情は少なくないようですが……。それでも高島では、先のマキノのように園や学校を見る「温かい目」は、まだまだ健在では……。

(H・M)